

今治地域に必要な看護師を育成

今治看護専門学校(竹内浩紀校長・在校生108人)は自己推薦入試の導入や入学前学習支援、国家試験対策の強化に加え、看護や看護学校に対する従来のイメージを更新しながら、地域に必要なとされる看護師の育成に力を入れています。マイタウンが竹内校長と亀田まゆみ副校長に、看護専門学校の魅力と今後の役割を聞きました。



▲インタビューを受ける竹内校長(右)と亀田副校長

深刻な看護師不足 医療体制の維持も困難



も決して例外ではあり
ません。看護師が不足す

大きいと考えています。
記者 その考え方は、

は面接のみで行うこと
しました。高校の普通科
だけではなく、商業科や

亀田まゆみ副校長
助産師資格を持ち、看護
教員歴は十数年。令和7年
に現職就任。思い立ったら
即行動、失敗も笑って糧
にする。今看を愛媛一の
人気校にすることが目標。

入試は「自己推薦」副校長

竹内校長 今、日本は
深刻な看護師不足の状
況にあります。今治市

門学校の役割は非常に

た。しかも、自己推薦入試

記者 看護専門学校そのものの魅力についても、ぜひお聞きしたいです。
校長 看護専門学校の魅力のつは、他の看護大
学より安価。しかも、3
年と早く、かつ、実践的
な学びを受けられること
です。本校では独自の
就学資金貸与制度つま
り授業料免除)も今年
度から運用を開始して、
多くの新入生が利用へ

マイタウン」井出千尋記者
本日は、今治看護専
門学校の魅力や取り組
みについて、お話をうか
がいます。まず、今、看護
専門学校の役割をどの
ように考えておられま
すか。

ると、地域の安定した医
療体制、特に救急病院
を維持することが難し
くなります。松山や大阪
などの看護学校を卒業
してから今治の病院で働
いてくれる人はいませ
ん。だからこそ、地元で看
護師を育て、地元の病院
へ送り出す今治看護専
門学校の役割は非常に

してもらう形にしまし
た。

記者 高校生だけでなく、
社会人の方にも門戸を
開いておられるんですね。
校長 本校では、高校
卒業後すぐに進学する
方だけでなく、社会人の
方も広く受け入れてい
ます。実際に、20代から
40代の方、過去には50代
で入学された方もいまし
た。

今年度からの入試制度
にも反映されているそ
うですね。
亀田副校長 はい。今
年度実施する入試から、
自己推薦入試を取り入
れました。これは、高校か
ら推薦してもらうのでは
なく、本校が求める人物
像にふさわしいと思う高
校生に、自分で自分を推
薦してもらう仕組みで
す。自ら「私はこの学校
で学びたい」と意思を示
してもらおう形にしまし
た。

工業科など、さまざまな
学びをしてきた生徒さ
んがおられます。そうし
た方々にも、看護師にな
りたいという気持ちは大
切にしてほしいです。